

P U B L I C

R E S O U R C E S

F O U N D A T I O N

公益財団法人パブリックリソース財団 2014年度事業報告書



意志ある寄付が新たな社会を創る

「よりよい社会を未来につなぎたい。」

そう願うことは自然なことですが、実際に行動を起こすことは簡単ではないかもしれません。

“寄付は社会貢献の実践”です。

あなたの意志で、資金を通じて社会創造に参画する方法です。

助成を受けた活動は、着実に社会に働きかけ、未来につながる社会を創っていきます。

その成果を確認し、自らの意志が社会を変えている実感を持つことができます。

公益財団法人パブリックリソース財団は「寄付推進の専門機関」として、多くの個人や企業の皆様から、“意志ある寄付”をお預かりし、社会創造の活動につなげるコーディネートを行なっています。

皆様の志は、いま、最も支援を届けるべき社会問題や弱き生命を着実に救う力になります。

あるいは、世代を越えて新たな社会を創り出す原動力となっていきます。

“未来を信じ、人を慈しむ” そうした寄付者の皆様とともに。

ごあいさつ

寄付のコーディネートを専門とする日本初の全国版の公益財団としてスタートして3年。皆様お一人おひとりの「志」ある寄付が、着実に実績を上げつつあることをご報告するとともに、ご支援くださる皆様に心より感謝申し上げます。

「寄付は人生の軌跡、未来への投資」はパブリックリソース財団が大切にしている価値です。2014年はその実現に向かって、新たな一歩を進めることができました。

ひとつは、一人の人生の軌跡をご遺族からじっくりとうかがい、故人が大切にしてくられた価値や活動を支援する“メモリアル基金”第一号の誕生です。

もうひとつは、現在最も困難に直面している福島県を「30年後に生き活きとした場になりたい」という強い意志を形にした「ふくしま未来基金」の設立です。地域の未来を信じる一人の実業家の呼び掛けから始まった基金は数億円規模になりました。

パブリックリソース財団は、これらの貴重な資金を最も効果的に活用するために、NPOや社会起業家のキャパシティビルディングやインパクト評価に力を入れています。単に資金助成をするだけでなく、NPOや社会起業家に伴走し、共に社会課題の解決に取り組む財団でありたいと考えています。

日本社会は大きな節目にきています。超高齢社会、人口減少社会、課題先進社会の日本のブレークスルーを実現するためには、民間の志ある資金の流れを創りださねばなりません。「普通の人を支える公共」、ダイナミックな市民社会を創りだすときです。

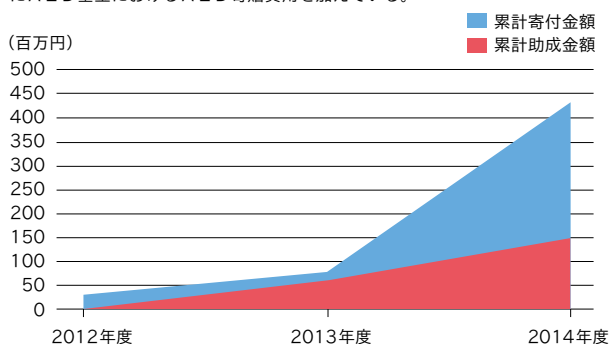
2015年パブリックリソース財団は引き続き、新しい基金の創設、NPO・社会的事業体の寄付適格性評価、弁護士・税理士・行政書士などの専門家・金融機関等と協働した遺贈の推進など、人生を豊かにする寄付、未来を切り拓く寄付の仕組みづくりに挑戦していきます。皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。

2015年 夏

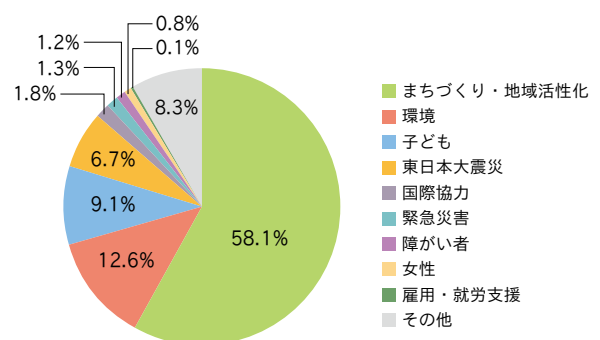
公益財団法人パブリックリソース財団
代表理事・理事長 久住 剛
代表理事・専務理事・事務局長 岸本幸子

● 寄付金額と助成金額の推移

※ 2014年度の助成金額は正味財産増減計算書の支払助成金にAED基金におけるAED寄贈費用を加えている。



● 2014年度助成先の分野



2014 Highlights

2014年度のハイライト

1 当財団初の個人基金 「井上圭子様 メモリアル基金」



アートによって豊かな人生を送られたお姉様を偲び、弟様ご夫妻の井上良一・里美様によって創設されました。

パブリックリソース財団では、企業専用の基金や、ご家族の記念基金など、寄付する方の想いを活かす基金をご提案しています。ご関心のある社会課題や、支援なされたい助成対象・分野・金額などをご相談いただき、カスタムメイドな寄付を実現します。

病弱だった前半生の後に、アートによって生きる力を得てたくさんの芸術作品を残した井上圭子様を偲んで設立された「井上圭子様 メモリアル基金」。ご遺族から圭子様のエピソードをじっくりとつかいがい、圭子様

の豊かだった人生の軌跡をメモリアルパンフレットにまとめました。

井上圭子様メモリアル基金は、アートでケアの現場を豊かにすることに使われます。

2 これからも福島が輝き続けるように 「ふくしま未来基金」の創設



30年後の福島が誰もが活き活きと生きていける地域となることに貢献するNPO等を支援しようと、福島県内の実業家および地域貢献を目指す企業による寄付によって創設されました。

2014年度は助成制度の設計に取り組みました。今後複数年にわたって「未来づくり助成」「まちづくり草の根助成」の2つの助成プログラムを運営します。2015

年2～4月に最初の公募が実施され、123件と多数の応募がありました。5月の審査会で13団体が助成先に選定され、これから活動が展開されます。

寄付金額： 2015年度より助成開始
258,000,000円

3 2013年創設「アート&ヘルス基金」 助成活動開始

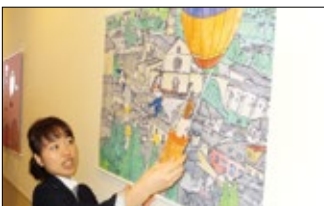
病院や福祉・介護施設、ホスピスなど、病いや障がいに向き合う現場に「生きることを支えるアート」を届ける活動を支援する「アート&ヘルス基金」がいよいよ助成を開始し、2つのプロジェクトが実現しました。

「アート&ヘルス基金」は、病院や福祉施設、学校、コミュニティセンターなどのケアの現場を、アートの力で豊かな生活空間に変えていくことを目指しています。また、アーティストが社会的な課題に目をむけ、アートの力で人々を癒し強める実践の場を提供します。

寄付金額：
2,004,774 円
助成金額：
1,500,000 円

助成先：
●うさぎさんのおうち「旅するアート」壁面アートプロジェクト
●南三陸・のぞみの森プロジェクト

「旅するアート」壁面アートプロジェクト ～病児の治療滞在に楽しい思い出を～



女子美術大学の鈴木理恵子准教授とその学生による「旅するアート」壁面アートが2015年3月に「うさぎさんのおうち」に寄贈されました。障がいを持つ芸術家による全8作品のタペストリーに、子どもや動物などの追加パーツをマグネットで貼り付けることができる趣向が凝らされており、見る人自身が絵画の世界と一緒に入り込んで、空想の旅を楽しむことができます。



「うさぎさんのおうち」は、地方から難病治療のために上京するお子さんに付き添う家族が利用する滞在施設で、認定NPO法人ファミリーハウスが運営しています。「旅するアート」は、闘病する子どもの前向きな気持ちを支え、子どもを看病する家族の心を和らげ元気づけるアートとして、季節ごとにタペストリーが掛け替えられて室内の廊下壁面を飾っています。

南三陸・のぞみの森プロジェクト ～アートを福祉作業所の強みに～

本プロジェクトは南三陸町のぞみ福祉作業所、拠点施設再建に向けてのグランドデザインを支援するものです。メンバー、スタッフ、家族、支援者などが、施設再建に向けての想いをひとつにすることを手助けし、メンバーのアートの力を施設再建に生かす仕組みをつくることを目的としました。

地元のアート展に出展したほか、手すき紙を使ったさりこ細工をデザインしたはがきや、作業所利用者の絵を配したカードなどを製作するNOZOMI PAPER FACTORYという新ブランドを立ち上げました。

数々のアート活動によって、作業所の製品売上が前年度の3倍以上となるなど、再建に向けて確実な前進を遂げました。



4 ゴールデンエイジの社会貢献 「遺贈」という形の寄付を推進

社会貢献を寄付で実現。ビジネスや家庭生活で充実した人生を築いてこられたゴールデンエイジの皆様、「末永い社会貢献」を実現していただくため、遺言や相続に伴う寄付をご提案しています。

このたび税理士や弁護士、行政書士の皆さんとの連携を始め、遺贈やメモリアル基金など、相続に関連する寄付ガイドブックを作成しました。当財団のホームページからダウンロードいただけます。



40代以上の日本人の24%が、資産の一部を遺贈として寄付してもよいと考えている（寄付白書2013）ように、遺贈寄付への関心は徐々に高まっています。

ご自身の築いた資産を、有益な社会活動へご寄付いただくことで、永く次の世代へ受け継いでいく「遺贈」を今後も推進してまいります。

当財団最初の遺贈（遺言による寄付）実例 「専門家との協働によるAさんの遺贈」

2015年2月、神奈川県内の行政書士さんからクライアントのAさん（80歳代女性）が、「遺言によってご自身の資産を寄付したい」との要望をお持ちなので相談したいとお話がありました。

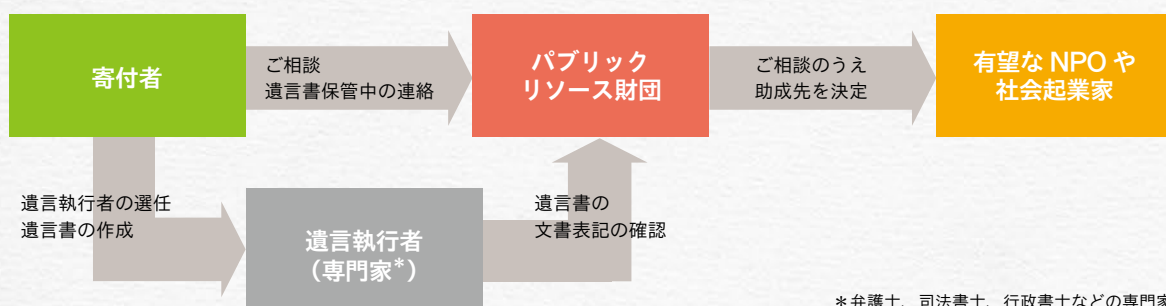
その後、行政書士さんと複数回の協議を積み重ね、A

さんのお志を確認しながら、遺贈先の活動分野などを協議しながら、遺言書の文面を練り上げ、2015年5月、「困難な状況にある子どもたちのために」とのお気持ちに沿った遺贈が実現するように遺言の準備が整いました。

※このほか、寄付先の活動や地域、選定方法、助成を行なう期間の設定や、ご報告の仕組みなども含めて、寄付者のご意志を実現するための寄付の設計のご相談もお受けしています。

ご自身の遺言による寄付～「遺贈」～

遺贈とは、遺言書をつくり、遺す財産（遺産）を相続人以外の特定の人や団体に贈ったり、寄付することをいいます。



*弁護士、司法書士、行政書士などの専門家

5 NPO 組織基盤強化の取り組み 経営上の課題や悩みを解決

パブリックリソース財団の重要な事業の柱である、NPO の組織基盤強化。NPO が有益な働きを持続的かつ効果的に行ない、社会へより大きなインパクトをもたらすため、NPO への資金面の助成に加え、組織運営の技術支援を行なっています。

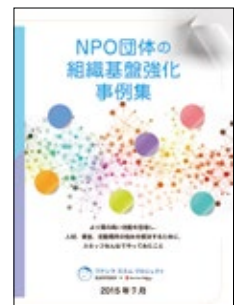


組織基盤強化事例集の作成

サントリーホールディングス株式会社と公益社団法人セーブ・ザ・チルドレンが取り組む「フクシマ スム プロジェクト」に参画し、福島県で「子どもの場づくり支援」活動をする 6 団体に対して、活動の向上と、組織基盤強化の技術支援を行ないました。

本プロジェクトでは、9 か月にわたり各団体に担当コンサルタントが個別にコンサルティングを行ないました。また集合研修や報告会を開催し、組織基盤強化の取り組み内容や成果を 6 団体で共有する

ことができました。これらの取り組みを、NPO が直面する多くの課題を網羅する事例集としてまとめ、今後広く NPO の経営に活かせるよう情報発信をしていきます。



NPO コンサルティング事例

- 中期経営計画の策定支援：NPO 法人市川子ども文化ステーション
認定 NPO 法人みやぎ発達障害サポートネット
- 組織診断：NPO 法人フードバンク山梨
- NPO 認定取得のためのファンドレイジング支援：あおもり NPO サポートセンターと協働で青森の 2 団体を支援

NPO の組織基盤強化 ～組織診断の枠組み～

組織診断は、NPO の運営上の課題を抽出し、解決の方向性を見出す、組織基盤強化に有効なマネジメント手法です。

パブリックリソース財団による組織診断は、ガバナンスやコンプライアンスだけでなく、事業が成果を生んでいるかという視点から診断するユニークな仕組みです。



寄付のファーストステップ

1,000円からできるオンライン寄付サイト「Give One」
157団体、239のプロジェクト（2014年3月31日現在）を掲載

日本で最も歴史のあるオンライン寄付サイト Give One（ギブワン）は、さまざまな社会課題に取り組む NPO 等のプロジェクトをご紹介します。

2014年度はフェイスブックやブログでの情報発信の頻度を上げ、サイトへの来訪数を高めるように努めた結果、前年と比較してユーザー数は18%、アクセス数は10%増加しました。

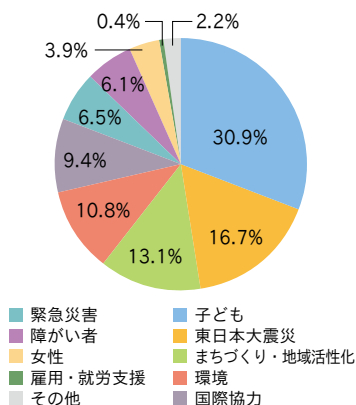
オンライン寄付金額：20,692,942円

助成金額：17,589,001円

オンライン寄付件数：5,938件

助成実績：132団体 232プロジェクト

● 2014年度 Give One 分野別寄付



寄付先の選択肢の豊富さと活動の質にこだわって登録団体を厳選

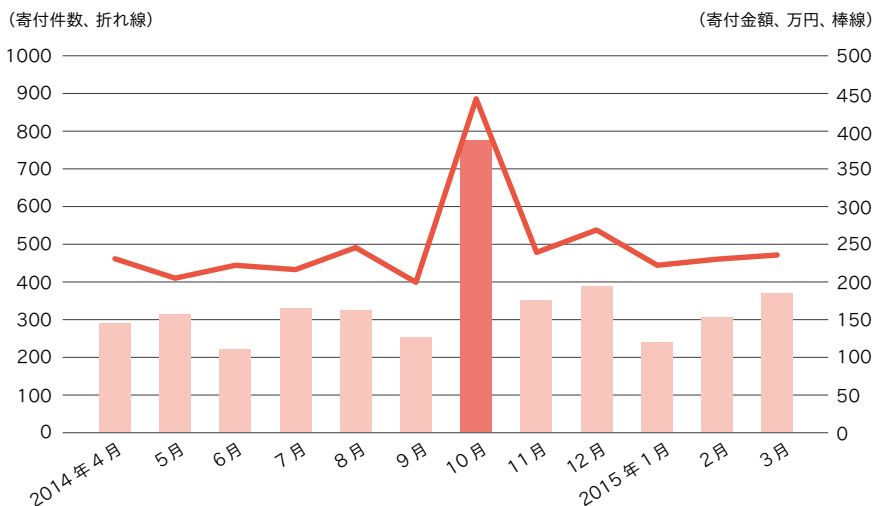
Give One は、初めての方にも安心して寄付ができ、その手ごたえを実感できるよう、厳格な審査で登録団体を選定し、NPO の活動効果を最大化できるようアシストしています。環境、子ども、災害復興など多くのテーマ、地域のプロジェクトを網羅することで、ユーザーに今の社会課題に触れていただき、共感する NPO への寄付を通じて社会参加できる機会を提供しています。

Give One 登録に必要とされる団体の審査基準

- 先駆性
- リーダーシップ
- 信頼性
- 持続性
- リスク管理

強化月間で寄付促進をサポート「Eファンドレイジング・チャレンジ」

2014年10月を強化月間と定め、オンラインでの情報発信や寄付促進についての研修を登録団体むけに実施。期間中にメールマガジンやフェイスブックなどの情報発信を行なった結果、月平均の2倍以上の寄付額に押し上げる効果になりました。



プを支援

自動販売機で飲み物を買うごとに寄付できる「ゆび募金」

寄付つき飲料自動販売機の展開を進めている特定非営利活動法人ジャパン・カインドネス協会と協働し、自動販売機の売り上げから、下記の2つの基金に寄付を募集しています。

ゆび募金は、自動販売機の設置場所の提供者、飲料メーカー、購入者の協力によって成り立つ寄付です。飲料一本につき2円が寄付される仕組みです。



東日本大震災広域避難者支援基金

震災、原発事故の影響で、今なお30万人近くの方々が自宅を離れ不自由な避難生活を送っています。本基金は、避難先での子育てサポートや情報提供、ボランティアによる学習支援などを提供する団体に助成を行ないました。

寄付金額：962,268円
助成金額：817,932円
助成団体：

- 認定NPO法人 IVY
- 福島県自主避難・母子避難新潟市自治連絡協議会
- 特定非営利活動法人こどもプロジェクト

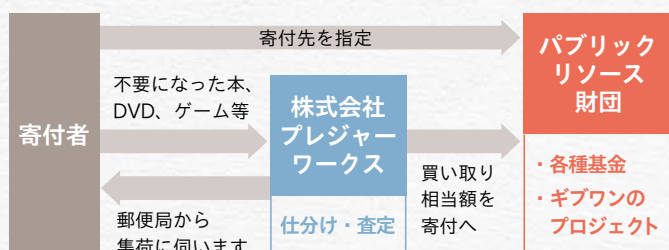
東日本大震災復興支援基金

岩手・宮城・福島の被災3県において、無利子・無返済義務の奨学金制度の提供や、アートを通して障がい者に生きる力と仕事を創出する活動、仮設住宅に暮らす子どもたちへのサポートなど、被災者支援を行う3団体に助成を行ないました。

寄付金額：1,901,894円
助成金額：1,616,612円
助成団体：

- 特定非営利活動法人遠野まごころネット
- 財団法人たんぼぼの家 東日本大震災復興支援事業
- 特定非営利活動法人ビーンズふくしま

片付いた上に、寄付もできる！「BOOK募金」



不要になった本やゲームの買い取り額を寄付できる「BOOK募金」。当財団を寄付先に指定いただいた寄付者の方々から、仕組みを運営する株式会社プレジャーワークスを通して、2014年度は10件6,744円の寄付をいただきました。

テーマ基金で特定の社会課題に フォーカス

未来につなぐふるさと基金 ～売上運動の寄付と社員ボランティアで社会貢献～

「未来につなぐふるさと基金」には、キャノンマーケティングジャパン株式会社が、使用済トナーカートリッジの回収本数やコピー紙の販売数などに応じて積み立てたご寄付がよせられています。2014年度は前年度に引き続き、環境や生物多様性の保全活動に取り組む13団体13事業を助成しました。これらの団体には、同社グループ社員によるボランティア活動も併せて実施されています。



寄付金額：

11,870,911 円

助成金額：

9,495,437 円

助成団体（13）：

- 霧多布湿原 ナショナルトラスト
- 白神山地を守る会
- アサザ基金
- くまの木里の暮らし
- 共存の森ネットワーク
- 風土人
- グラウンドワーク三島
- 野原村元気づくり協議会
- 里山倶楽部
- 西条・山と水の環境機構
- どんぐりネットワーク
- 和白干潟を守る会
- 美ぎ島宮古グリーンネット

教育基金 ～すべての子どもに将来の夢を～



教育の課題解決に取り組むNPOや社会起業家を応援する目的で設置した「教育基金」。2014年度は前年に引き続きNPO法人Teach For JapanのNext Teacher Programに助成しました。Teach For Japanでは、経済格差による教育機会の不均等を克服すべく、誰もが通う学校で素晴らしい教育を受ける機会を広めています。同プログラムは、優秀で意欲ある人材を選抜し、指導力の高い教師として、そして社会のリーダーとして貢献するための育成・支援を行なっています。

寄付金額：

3,140,170 円

助成金額：

2,824,145 円

助成団体：

- 認定特定非営利活動法人 Teach For Japan

AED・地域あんしん基金 ～心肺停止から1分以内でAEDに到達できるコミュニティに～

「AED・地域あんしん基金」は、多くの市民が利用する公共施設や福祉施設に寄付によってAEDを寄贈しています。2014年度は、常時受け付けている設置希望団体の中から3か所へ寄贈を行ないました。

寄付金額：

2,100,000 円

助成金額：

1,266,154 円相当のAEDを寄贈（3台）

設置場所：● NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク

- 一般社団法人東松島みらいとし構想の運営する
ディスカバリーセンター

- 東北大学の運営する災害科学国際研究所

CSRのコンサルタントとして 企業の社会貢献活動を支援

社員の募金活動を促進

● 損害保険ジャパン日本興亜株式会社の全役職員がメンバーであるボランティア組織「損保ジャパン日本興亜 ちきゅう倶楽部」の助成プログラム「Heart & Artsプログラム」の立ち上げを支援しました。プログラムの主旨およびガイドラインの設定協力、助成先候補となるNPOの推薦、助成先決定のためのコンサルティングを行ないました。

● アズビル株式会社および同社の有志社員による募金の仕組みである「アズビルみつばち倶楽部」の活動を支援しました。アズビルみつばち倶楽部会員が毎月100円を拠出して集めたご寄付をもとに、被災地支援、スポーツ、障がい者支援、健康医療など様々な分野で活躍する30団体へ助成を行ないました。

社員ボランティアの推進プログラム

● アクセンチュア株式会社の社会貢献担当部署との協働で、より多くの社員がボランティアやプロボノ活動・社会貢献活動に興味を持ち、積極的に関わるきっかけを提供するプロジェクトを実施しました。

● クラブツーリズム株式会社の社会貢献活動の実施支援を行ないました。本年度は同社の社員およびカタログをポスティングする「エコスタッフ」を対象に、東日本大震災被災地視察のコーディネートを行ないました。

社会貢献活動の成果評価

● パナソニック株式会社が企業市民活動の一環として、NPOの組織基盤強化を行なった「Panasonic NPOサポートファンド」の成果評価を行ないました。同ファンドの支援を受けた26団体を対象にアンケート調

査とヒアリング分析を行ない、組織診断や組織基盤強化のコンサルティングを受けたことが主要事業の成果の増大につながっていることを明らかにしました。

CSRのレビュー

● 一般社団法人CSRレビューフォーラムの一員として、企業のCSRのレビュー（企業とNPOとの対話）に参画し、企業の持続的成長やCSRを推進するグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンのほか、

日本電気株式会社、大日本印刷株式会社、SCSK株式会社などの企業とCSRの推進に関する意見交換を行ないました。

NPOマネジメントに関する講座および講師派遣

通信教育講座「NPO実践マネジメント入門」の実施

同講座はNPOのマネジメントについて、オンラインで体系的に学べる講座です。
NPOスタッフ、中間支援組織、企業のCSR担当

者など合計44名を対象に、通信教育講座「NPO実践マネジメント入門」を実施し、40名に修了証を発行しました。

Special Thanks

■アート&ヘルス基金

深澤 由美子様
高野 久雄様
黒木 明日丘様
H I Vと人権・情報センター様
蛭名 喜代作様
遠藤 幸彦様
礪 ちづ子様
長谷川 恒子様
日高 孝子様
関 和実様
勝又 英子様
速水 洋志様
優・友・優様
風間 八重子様
岡田 恵子様
田中 義博様
山田 長満様
茂木 義三郎様
多田 昌弘様
田口 治様
井上 良一様
ジェイティ飲料株式会社様
他 匿名 14 名様

■ふくしま未来基金

東北コンクリート株式会社様
株式会社ウインスリーひかり様
株式会社イツミ様
株式会社福島除染研究所様
佐藤工業株式会社様
株式会社ホクショー様
株式会社エムケー様
佐藤 勝三様
株式会社エスケコーポレーション様
他 匿名 1 社様

■教育基金

茂木 義三郎様
株式会社サマースクール様
株式会社岡陽プランニング様
S A Pジャパン株式会社様
他 匿名 1 名様

■未来につなぐふるさと基金

キャノンマーケティングジャパン株式会

社様
他 匿名 3 名様

■AED・地域あんしん基金

キャノンマーケティングジャパン株式会
社様
株式会社ジャスト様

■Give One 登録団体を 指定したご寄付

延べ 5,938 人のオンライン寄付者の
皆様
ゴールドマン・サックス証券株式会社様
株式会社宮嶋商店様

■使途指定のご寄付

アズビル株式会社様
azbil みつばち倶楽部様
株式会社プリプレス・センター様
他 匿名 2 名様

■東日本大震災広域避難者 支援基金

キャノンマーケティングジャパン株式会
社様
合同製鉄株式会社様
多摩川ハイヤー株式会社様
日新総合建材株式会社様
日本磷酸株式会社様
神交連 報徳太陽支部様
株式会社マイナビ様
三菱重工労働組合 横浜製作所支部様
株式会社宇野自動車整備工場様
株式会社リアルエステートエイジェン
シー様
三好 輝尚様
マイクロプロセス株式会社様
有限会社ボデーショップエアールビー様
有限会社あわづ代行様
株式会社フォレスト様
愛菜ファーム有限会社様
久留米運送株式会社様
株式会社佐幸運輸様
テクノガレージ様
野村ビルマネージメント株式会社様
株式会社山陽自動車学校様

株式会社ホクバン様
川口診療所様
住宅型有料老人ホーム ウェリナ様
いわさレディースクリニック様
JFE 協和容器株式会社様
JFE スチール福山労働組合様
JFE ビジネスサポート横浜株式会社様
JFE 物流株式会社 塩浜センター様
JFE 物流株式会社様
JFE 物流株式会社 中部事業所様
JFE スチール京浜労働組合様
株式会社翔葉様
東海カーボン株式会社 防府支部様
東北東ソー化学株式会社様
株式会社バイタルネット様
株式会社マルタケ様
総合商社マルチュウ株式会社様
みり薬局様
東亜道路工業株式会社 横浜支店様
コカ・コーラーストジャパン株式会社
(東京コカ・コーラ) 様
アーバンベンディックスネットワーク株
式会社様
コカ・コーラーストジャパン株式会社
(コカ・コーラセントラル) 様
大蔵屋商事株式会社様
キリンビバレッジ株式会社様
ネオス株式会社様
コカ・コーラウエストベンディング株
式会社 (南九州コカ) 様
アサヒ飲料株式会社様

■東日本大震災復興支援基金

キャノンマーケティングジャパン株式会
社様
第一三共株式会社様
北日本機械株式会社様
スガミ物産株式会社様
大同信号株式会社様
株式会社薬事日報社様
わかもと製菓株式会社様
リヴウェル株式会社様
高橋 栄治様
株式会社ドリームライン様
株式会社アイセイ薬局様
ローム・アンド・ハース電子材料株式会
社様
瀧野川信用金庫様
オーエム通商株式会社様

2014年度にご支援を賜った皆様を掲載させていただきました。
皆様のご支援に心から感謝いたします。

(順不同)

中央恒産株式会社様
株式会社フォレスト様
有限会社さつき興業様
UK駒生薬局様
東伸ステンレス様
株式会社レント様
有限会社峡北調剤薬局様
オカモト薬局烏山店様
オーシャンパッケージ株式会社様
嵯峨薬局株式会社様
パークヒルズ株式会社様
ひな薬局林店様
株式会社エフシーエス様
愛誠商事様
池田薬局佐竹通り店様
ロックメディカル株式会社様
国分プレス工業株式会社様
向日葵薬局(有限会社ナチュラルハーブ)様
有限会社ヤマザキ・ファーマシーズ様
太誠堂薬局様
キムラユニティー株式会社様
東邦薬局様
サンプラス調剤薬局様
エムシー関東株式会社 エルダー薬局様
中日調剤薬局 碧南市民店様
海都 末広本店様
有限会社ケイエス様
株式会社グット・ファーマシー様
株式会社アスワン様
島本薬局様
住宅型有料老人ホーム&デイサービス
NOA様
公益財団法人道央農業振興公社様
飯塚 和道様
かとう内科クリニック様
北都クリニック様
医療法人想医会 泌尿器科 C.U. クリニック様
太閤クリニック様
北社市立塩川病院様
医療法人羽山クリニック様
医療法人社団進修会 岳東クリニック様
岡クリニック様
一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう
病院様
ほしい小児科・整形外科様
医療法人社団久善会 やのハートクリ
ニック様
佐々木内科小児科医院様
東邦薬品株式会社様

株式会社東邦システムサービス様
合同東邦株式会社様
九州東邦株式会社様
東邦ホールディングス株式会社 お茶の
水オフィス様
イワキ株式会社様
株式会社幸耀様
酒井薬品株式会社様
東海カーボン株式会社 若松様
ネボン株式会社様
株式会社 ホンダカーズ東京中央様

■ 業務受託

コカ・コーライーストジャパン株式会社
(東京コカ・コーラ) 様
アーバンベンディックスネットワーク株
式会社様
三國フーズ株式会社様
コカ・コーラウエスト株式会社様
コカ・コーライーストジャパン株式会社
(コカ・コーラセントラル) 様
エフ・ヴィセントラル株式会社様
大蔵屋商事株式会社様
キリンビバレッジ株式会社様
ネオス株式会社様
コカ・コーラウエストベンディング株式
会社(南九州コカ) 様
ダイドードリンコ株式会社様
アサヒ飲料株式会社様
株式会社ユカ様
株式会社伊藤園 厚木支店様

■ 賛助会員

RAUL 株式会社様
一般社団法人日本アスペン研究所様
勝又 英子様
佐藤 政行様
松岡 紀雄様
関 和実様
蛭名 喜作様
吉田 親様
下村 秀樹様
日高 孝子様
長谷川 恒子様
黒木 明日丘様
雨森 孝悦様
鈴木 政孝様
武田 治実様
山岸 弘志様
田口 治様

岡田 恵子様
桜井 晃様
寺尾 仁様
宇都宮 高明様
水口 美智子様
礪 ちず子様
株式会社電通様
磯谷 千代美様
金子 久美子様
他 匿名 10 名様

■ 業務受託

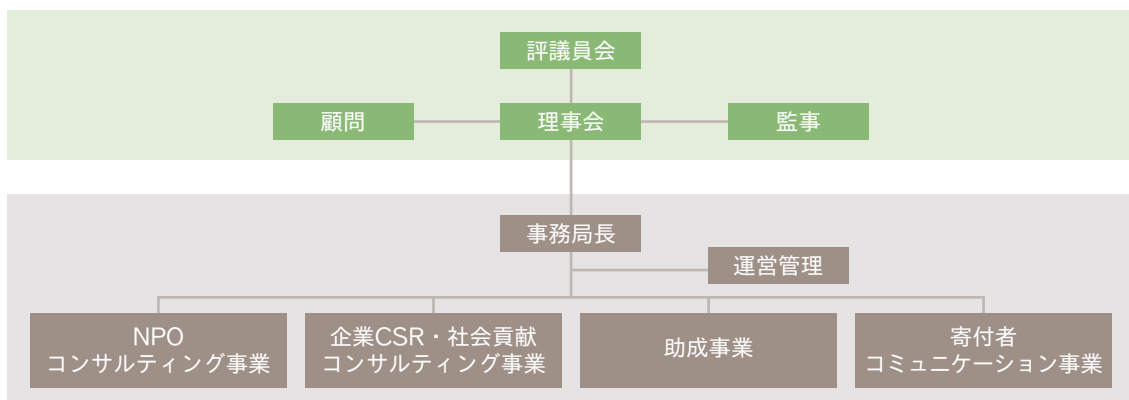
アクセンチュア株式会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
バナソニック株式会社
クラブツーリズム株式会社

■ パートナー

特定非営利活動法人ジャパン・カインド
ネス協会様
株式会社プレジャーワークス様
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・
ジャパン様
弁護士法人中村総合法律事務所様
ほがらか信託株式会社様
ランドマーク税理士法人様
行政書士 江端 俊昭様
CSR レビューフォーラム様

組織体制

理事	
久住 剛	公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事・理事長
岸本幸子	公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事・専務理事・事務局長
伊藤聡子	公益財団法人日本国際交流センター（JCIE） 執行理事、チーフ・プログラムオフィサー
角方正幸	株式会社大学改革 代表取締役社長
鷹野秀征	ソーシャルウィンドウ株式会社代表取締役、一般社団法人新興事業創出機構（JEBDA）理事長
土肥寿員	公益財団法人交通遺児育英会 常務理事・事務局長
西田治子	一般社団法人 Women Help Women 代表理事 オフィス・フロンシス代表
評議員	
秋葉 武	立命館大学産業社会学部 教授
雨森孝悦	日本福祉大学 福祉経営学部長
勝又英子	公益財団法人日本国際交流センター（JCIE） 専務理事・事務局長
中村陽一	立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科 教授
槇ひさ恵	特定非営利活動法人ニンジン 常務理事
山崎富一	特定非営利活動法人笑顔せたがや 理事・事務局長
湯瀬秀行	公益財団法人助成財団センター 事務局長代理
監事	
跡田直澄	嘉悦大学 副学長、大阪大学大学院 医学系研究科 特任教授
富岡順一	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 理事
顧問	
播磨靖夫	財団法人たんぼぼの家理事長
今田 忠	市民社会研究所所長
江橋 崇	法政大学法学部 名誉教授
事務局	
岸本幸子	事務局長 （専従 5 名、非専従 5 名）
田口由紀絵	チーフ・プログラムオフィサー
北野里実	プログラムオフィサー
津田順子	プログラムオフィサー
小久保吾子	アシスタント・プログラムオフィサー
由良 聡	法務・コンプライアンス担当
関 和実	労務担当
三澤良子	経理担当
河合哲朗	シニアフェロー
赤池洋二	シニアフェロー



決算報告

〈正味財産増減計算書〉

	2014年度	2013年度	2012年度(*) (単位:千円)
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常収益			
事業収益	16,297	25,866	158
受取補助金等	0	1,487	0
寄付金収益	109,925	76,008	2,119
その他収益	748	77	100
合計	126,970	103,438	2,378
2. 経常費用			
事業費	106,690	88,695	494
(うち助成金)	(88,710)	(75,387)	(0)
管理費	16,469	6,740	1,153
合計	123,159	95,435	1,646
当期経常増減額	3,811	8,003	732
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,811	8,003	732
一般正味財産期首残高	9,545	1,542	810
一般正味財産期末残高	13,356	9,545	1,542
II. 指定正味財産増減の部			
受取指定助成金	1,000	0	0
受取指定寄付金	363,885	48,769	29,120
一般正味財産への振替額	109,925	75,841	500
当期指定正味財産増減額	254,960	▲ 27,072	28,620
指定正味財産期首残高	4,547	31,620	3,000
指定正味財産期末残高	259,507	4,547	31,620
III. 正味財産期末残高	272,863	14,092	33,161

(*) 2012年度は設立第1期のため2013.1.17～2013.3.31の決算です。

〈貸借対照表〉

	2014年度	2013年度	2012年度(*) (単位:千円)
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,726	6,354	30,190
未収金	2,216	6,273	0
前払費用	453	576	114
その他流動資産	25	0	0
合計	14,421	13,203	30,304
2. 固定資産			
基本財産	3,000	3,000	3,000
特定資産	256,187	1,547	0
その他固定資産	320	0	0
合計	259,507	4,547	3,000
資産合計	273,928	17,751	33,304
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	835	3,184	0
未払費用	0	0	76
前受会費	0	200	0
預り金	230	275	67
合計	1,065	3,659	142
負債合計	1,065	3,659	142
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本金	3,000	3,000	3,000
指定寄附金	255,507	1,547	28,620
指定助成金	1,000	0	0
指定正味財産合計	259,507	4,547	31,620
(うち基本財産への充当額)	(3,000)	(3,000)	(3,000)
2. 一般正味財産			
一般正味財産	13,356	9,545	1,542
正味財産合計	272,863	14,092	33,161
負債及び正味財産合計	273,928	17,751	33,304

(*) 2012年度は設立第1期のため2013.1.17～2013.3.31の決算です。

「賛助会員」として パブリックリソース財団の活動をご支援ください

パブリックリソース財団は、寄付推進にかかわる志と専門性を持ち、個人や企業の資金力を社会的事業への投資につなぐ寄付の推進組織として活動しています。ぜひ賛助会員にご登録いただき、弊財団の組織基盤強化にご支援くださいますようお願い申し上げます。

- 弊財団の賛助会費は、税制優遇の対象となります。
- お申込み単位：（個人）一口1万円、（法人）一口10万円
- 会員の期間：2015年度（2015年4月1日～2016年3月31日）
- 賛助会員の特典：
 - ・ ご希望に応じ、寄付およびその他の社会貢献の方法について、個別相談の機会を提供いたします。
 - ・ 弊財団のメーリングリストに登載し、メルマガ等で情報提供をいたします。
 - ・ 弊財団の出版物を優待価格で購入できます。
 - ・ 弊財団が主催、共催する研修会、セミナー等に優待価格で参加できます。

1. 「賛助会員申込書」にご記入の上、以下にお送りください。
（「賛助会員申込書」は当財団ホームページからもダウンロードいただけます）

公益財団法人パブリックリソース財団
メール： center@public.or.jp
Fax： 03-5540-1030

2. 最寄りの金融機関でお振込をお願いいたします。

お振込先

三菱東京UFJ銀行新富町支店
普通預金口座 口座番号：0082642
口座名義： 公益財団法人パブリックリソース財団
フリガナ： コウエキザイダンホウジン パブリックリソースザイダン

ゆうちょ銀行 支店コード019
当座預金口座 口座番号：0386176
口座名義： 公益財団法人パブリックリソース財団
フリガナ： ザイ)パブリックリソースザイダン

公益財団法人 パブリックリソース財団

〒104-0043 東京都中央区湊2丁目16-25-202
Phone 03-5540-6256 Fax 03-5540-1030
E-mail center@public.or.jp URL <http://www.public.or.jp>